

【巻頭言】

## 特集 シンポジウム「減圧症症例登録に向けてーその2ー」

亀田総合病院 救命救急科 鈴木 信哉

東京医科歯科大学 高気圧治療部・スポーツ医学診療センター 柳下 和慶

東京医科歯科大学 高気圧治療部 小島 泰史

防衛医科大学校 脳神経外科学講座 和田孝次郎

昨年6月に開催された第54回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会のシンポジウム「減圧症症例登録に向けて」の記録として、各演者に執筆を依頼し、論文化したものです。前号に引き続き3人の演者に執筆いただきましたので、その2として今号で掲載いたしました。前号でも申し上げました通り、このシンポジウムではあえて減圧症（DCS: decompression sickness）に絞って議論を行いました。しかしながら、実際にはDCSと動脈ガス塞栓症（AGE: arterial gas embolism）との鑑別に困難な場合があり、両者をまとめて減圧障害（DCI: decompression illness）としたほうが良いのではないかとの根強い意見もあり、DCS、DCIどちらの用語を使用するかについては今回も各執筆者にお任せしております。この問題は引き続き今後の課題としたいと考えております。今回の3論文では減圧症データベースを作成するにあたっての注意点や参考とするべき他のデータベースについて、それぞれの執筆者のご経験やご知見に基づき論じていただきました。

難しい内容の依頼を見事に活字化していただき、ご執筆の労をおとりいただいた先生方には深謝申し上げますとともに、本特集の内容が読者の先生方のお役にたちますことを願っております。